

第1回 魚津市の財政を考える市民会議 会議録

○日 時

平成29年3月2日（木）19時00分～20時45分

○場 所

魚津市役所 2階 第1会議室

○配布資料

- 資料1 魚津市の財政状況について
- 資料2-1 第5次魚津市行政改革大綱
- 2-2 第5次定員管理計画
- 2-3 魚津市公共施設再編方針
- 資料3-1 広報うおづ3月号「平成27年度 魚津市決算報告」
- 3-2 公共施設に係る経費等の「見える化」について
- 3-3 うおづのミライはだれのもの？
- 資料4 魚津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

○委 員

魚津商工会議所	石川 勝康
北陸税理士会魚津支部	濱多 善克
西田哲也りんご園	西田 哲也
米工房Jasmine	小林 由紀子
公益社団法人新川青年会議所	若林 健嗣
魚津市男女共同参画地域推進員連絡会	木下 理佳
魚津市自治振興会連合会	伊藤 甚宰
社会福祉法人海望福祉会	大崎 雅子
魚津市PTA連合会	浅野 朱実
魚津市副市長	四十万 隆一（座長）
魚津市企画総務部長	川岸 勇一
魚津市財政課長	富居 幹生
魚津市総務課長	武田 寛

市民 9名（うち2名は所用につき欠席）

職員 4名

○会議内容

1 委嘱状交付

期間：平成29年3月2日～平成31年2月末（2年間）

2 市長挨拶

(挨拶の要旨)

委員の皆さまには、人口減少の中で魚津の将来を一緒に考えていただきたい。

少し広い視野を持ち、魚津のことだけでなく、他のことも見ながら魚津を見つめて一緒に考えていただきたい。

委員の皆さまに3つの役割を期待します。

一つ目は、この会議での議論を皆さまのまわりの方々に伝えていただく役割。

二つ目は、皆さまのまわりの声をこの会議に伝えていただく役割。

三つ目は、この会議で一緒になって考えていただくこと。

皆さまに忌憚りの無い意見をお出しただいて、市民と一緒に考えてつくる市政を目指したいと思っています。

3 資料説明

各委員へ資料1～資料4を簡潔に説明。

4 意見交換

委員 経常収支比率の順位が他市より低いというのは、具体的にどのような状況にあるのか。

⇒ (資料1 P6) 一人当たり税収入の額は県内3位であるが、魚津市は使い道が固定化している経費の割合が高いのが特徴で、自由度が低く、突発的な支出への対応は貯金の取崩し等での対応が必要となる。この比率を下げることで、臨時的な支出や、特に力を入れた分野への支出の自由度が高まる。

委員 財政内容の概要については、分かりやすくお聞かせいただき、短期的なものは分かった。

人口減少は魚津市に限らず各市町村の課題。資料には人口動態の分析データが掲載されているが、これに対して、どのような具体的な事業を実施していくのか。

⇒ 平成29年度予算では、毎年経常的に決まっている経費の節減を図るため、5%削減という具体的な目標を定めて取り組んだ。長期的には、次回以降の会議で硬直化の要因(人件費、維持管理費、住民への補助金等)を説明していきたい。

委員 公共施設の再編について、清流小統合に伴い公民館が旧片貝小に移転した。このような場合で、旧公民館の施設を地元で活用したいという話もあるが、耐震性がなければ活用も難しい。古い施設の解体にも費用がかかる。無駄のないように活用していければ。

⇒ 公共施設再編方針では、総量を抑制することとしている。また、市が保有し続けるのではなく、民間への売却などの活用方法もあるが、個別の施設はこれからの協議。

委員 会議資料を事前に送付されたい。

⇒ 次回以降は、事前に委員のお手元に届くよう手配したい。

委員 広報に予算の円グラフなどが載っているが、この数字を見て理解できる方はどのくらいい

らっしゃるのだろうかと常々思っており、この場で説明を聞いてやっと理解できた部分もある。より分かりやすく伝える努力を今後も続けてもらいたい。

⇒ 工夫していきたい。アイデアも聞かせていただければ。

委員 自分の中では、昔から魚津市の税金は高いというイメージがあった。本日の資料では、一人当たり税収入が県内3位であった。また、魚津市も合併すれば良かったと思っていたが、合併の有無による予算への影響も知ることができた。黒部市との比較も読み解けたところがある。

⇒ 学校建替えなどの臨時的な支出には積立てを宛てるなどし、通常の住民サービスは、積立てを崩さずに、その年に入ってくる収入だけで対応できるようにしたい。

例えば、魚津市の固定資産税率は黒部市と同じく1.6%で、滑川市は1.5%。最近は下がってきたが、地価が黒部市などよりも高いことから、固定資産税が高いように思われる。健康保険料や介護保険料も高いが、利用した分を皆さんで負担するものであり、高いということは利用が大きいので、介護予防や健康づくりに力を入れていく必要がある。

保育料は、国の基準よりも7割に引き下げているが、今年度からは、第2子の同時入所で無料化するなど、負担軽減に取り組んでいく。

水道料や下水道使用料についても、皆さんにも内容をお示ししていきたい。

委員 庁舎の建替えが必要となってきたが、どのように積立てを行っていくのか。

財政は厳しいが、災害時などに市役所が機能しなければならない。

⇒ 本日も庁内プロジェクトチームの会合が開かれたが、本庁舎・各分庁舎を合わせた面積で考えると、最低限40億円かかるように見込まれる。その半分は基金で対応し、残りを起債として返済していくようなイメージで想定している。

庁舎の防災機能に関して、有利な財政措置もあるため、迅速に作業を進めていきたい。

委員 先程も、魚津市の状況を市民の方になかなか伝えきれていないことが話題とされ、私もそう思っている。魚津市の情報発信の手段は、広報とホームページか。

広報は、あまり見たいと思わない。昔からのフォーマットで真面目な感じで、多くの情報を発信しても伝わらなくては意味が無い。いろいろと検討しているかもしれないが、読みたくなるような方法も考えてみては。

委員 例えば、3世代家族などでは、若い世代に広報がまわってこない。広報がコンビニに配置してあり、簡単に手に入るようになったため、「健康センターの子ども集まりに参加できた」「児童センターを知ることができた」といった、若いお母さんもいるのでは。多くの方が手にできるところに配置しているのは良い。

委員 今回の会議に向けて広報を読んできたが、以前に比べたらページ数が増えたように思うし、折り込みも増えたように思う。全てを見るよりも、子育て情報や無料相談の日など、自分の知りたい情報をピックアップして見るためには、盛りだくさんの情報は必要かもしれない。

⇒ 皆さんにより読んでもらえるように工夫していきたいと思う。ホームページの見直しも進めており、少しでも市の情報に触れやすいように取り組んでいきたい。

市 財務書類などを、より分かりやすく伝える工夫はできるものか。

委員 一般的に公表されている形式が良いと思う。漫画を添えるなど見たくなるような工夫が必要だと思われる。

委員 職員数を331名まで減らすとしている。退職・採用抑制で減らしていくのか。

⇒ 行政部門の職員数は限界で、底を打っていると考えている。職員減の要因は、業務員の採用を行っていないことから、退職者分が純粋に減っていく。

直営の施設を民間へ指定管理などで移管しているが、人件費が減る分、管理費が増えているところもある。

委員 市長が挨拶で危機感を共有したいとおっしゃっていたが、市民にどのように向き合ってもらいたいのか。全体的な財政状況を説明して理解してもらいたいとか、公共施設を減らしたい中で贅沢はできないことを理解してもらおうなど、何か狙いはあるのか。

⇒ このままでは、財政を維持できないことは分かりきっている。経常経費を削減することは、行政サービスを低下させること。一方的に行政が進めるのではなく、一緒になって理解して進めていきたい。まず、この会議で財政状況等を知っていただくところから始めて、いろいろな媒体を通して市民へ理解を広めていきたい。

座長 第1回の会議であったが、多くの意見が出された。平成30年度予算の作業は今年の秋から始まるが、こうした会議で出された意見のうち、1つでも2つでも予算に反映し、実際に取り組んでいきたい。秋までに、何度か会議を開いていきたい。

今後も、話しやすい雰囲気で開催できるよう心がけていく。是非、皆さんの智恵をお貸しいただきたい。